

伊達家重臣片倉小十郎の城下町・白石へ

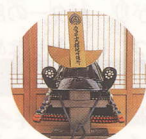
仙台空港から西へ約40km、雄大な宮城蔵王の麓に開けた白石市。かつては白石城を中心に城下町として発展した歴史を持ち、その町並みには今なお、そこかしこに藩政時代の面影が色濃く残っている。美しい自然と伝統文化を継承する街、白石を巡る旅に出掛けよう。



文：鎌田ゆい Yuko Kamada 撮影：門山夏子 Natsuko Katoiyama



仙台空港から



時を超えて再現された白石城

南蔵王を仰ぎ、清流・白石川が流れる自然豊かな街、宮城県白石市。古代には関東から東北へと続く東街道の入り口に位置し、交通の要衝として栄えた。江戸時代に入ると伊達家の重要拠点とされ、重臣・片倉氏が治める城下町として発展した背景がある。その片倉氏の居城として、1602（慶長7）年に片倉小十郎景綱が伊達政宗より拝領した平山城が白石城だ。

現在の白石城は1995（平成7）年に復元されたもの。古来の様式に基づき、全国でも珍しい木造での復元を採用しているのが特徴で、学術的にも高い評価を得ています」と語るのは、白石城歴史探訪ミュージアムの館長・高橋順次さん。復元された三階櫓（天守閣）や大手門、石垣から、往時の姿をしのぶことができる。





展示室では白石城の復元過程などを紹介。多彩な視点から城の歴史を学ぶことができる

白石城歴史探訪ミュージアム

白石城に隣接する資料館。白石城本丸の100分の1サイズの模型や、片倉家ゆかりの品々を展示している。白石城にまつわる立体映像を200インチの大画面を通して体験できる「立体ハイビジョンシアター」は迫力満点。売店ではオリジナルの小十郎グッズが好評だ。

片倉家伝来の甲冑や刀剣、火縄銃、古文書などを展示。歴史ファンにはたまらない空間だ

〒白石市益岡町1-16 (益岡公園内)

☎0224・24・3030 (白石城管理事務所)

☎9:00 ~ 17:00 (11~3月は~16:00)、

レストラン(ミュージアム内) 11:00 ~ 15:00

※入館は閉館の30分前まで

☎無休

☎天守閣: 大人¥300、小・中・高校生¥150

ミュージアム: 入館無料(「立体ハイビジョンシアター」は大人¥300、小・中・高校生¥150)

☎JR白石駅より徒歩10分

☎www.shiro-f.jp/shiroishijo/



片倉家中日小関家 武家屋敷

白石城の北側、沢端川沿いの通りには、城下町の面影を今に伝える武家屋敷が幾つか残されている。そのうちの1件、片倉家の家臣・小関家の屋敷を復元して一般公開。鬱蒼とした庭木で覆われた母屋は素朴な造りで、当時の中級武士の暮らしを垣間見ることができる。

1730(享保15)年に建てられた小関家の屋敷。宮城県的重要文化財に指定されている

〒白石市西益岡町6-52

☎0224・24・3030 (白石城管理事務所)

☎9:00 ~ 17:00 (11~3月は~16:00)

※入館は閉館の30分前まで

☎無休 ☎大人¥200、小・中・高校生¥100

☎JR白石駅より徒歩15分

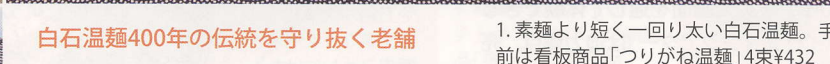
☎www.shiro-f.jp/shiroishijo/



威風堂々と立つ白石城天守閣。最上階からは蔵王連峰が一望できる。周辺は公園となっており、桜の季節はことのほか美しい

名湯や名産品にも歴史が息づく

市街地には白石城を中心に、掘割や水路、商家の蔵が点在。街を歩いてみると、城下町の名残をあちらこちらに垣間見ることができる。一方、山あいのどかな風景が広がる郊外には、鎌先温泉、小原温泉という二大温泉地がある。鎌先温泉は、古くから「ギスに鎌先」とつたわれ、伊達政宗や片倉小十郎景綱も入湯したと伝えられている名湯だ。開湯800年、江戸時代には湯治場として栄えたという小原温泉は白石川沿いに湧き、四季折々の渓谷美を堪能できる温泉として人気が高い。特産品では伝統けしの「弥治郎こけし」をはじめ、「白石三白」と呼ばれる「温麺」「和紙」「葛粉」が名高い。白石温麺は今から400年ほど昔、白石城下に住んでいた孝行息子が胃を病んで床に伏していた父のために、油を一切使わずに小麦粉と塩水だけで作った麺が始まりとされている。また白石和紙は伊達政宗が農家の冬期の内職として奨励したもの。その丈夫で優れた品質から、奈良・東大寺で行われる修二会(お水取り)で僧侶が着る紙衣の素材として重宝されてきた。藩政時代から脈々と受け継がれてきた歴史と独特の伝統文化が息づく城下町・白石。知れば知るほど奥深さを感じるところが、この街の魅力なのだろう。



1. 素麺より短く一回り太い白石温麺。手前は看板商品「つりがね温麺」4束¥432

“つりがね印の白石温麺”で親しまれている製麺所。多彩な商品の中でも、厳選した小麦粉を用い、昔ながらの手作業で丹念に作られる「自家製手延白石温麺」(3束 ¥500/写真1・左)は逸品。手延べならではの滑らかな食感と喉ごしが堪能できる。

窪白石市本町46
 ☎0224・26・2484
 ☑9:00～17:00
 (工場見学は10:00～14:30、要予約)
 困第3①(売店)、その他臨時休業あり
 図見学科料¥100(衛生協力費として)
 図JR白石駅より徒歩10分
 ㊦tsurricane.com/

工場を見学し、本場の味わいに舌鼓を。
新緑の中の湯浴みを心ゆくまで楽しもう

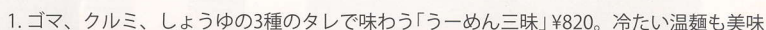


5月中は子ギツネ
の抱っこ体験が可
能。子供たちには
小動物ふれあいコ
ーナーも大人気

宮城蔵王キツネ村

蔵王山麓の大自然の中にあるテーマパーク。キタキツネやギンギツネをはじめ、6種類100頭以上のキツネが放し飼いにされており、気軽に触れ合いが楽しめる。

国白石市福岡八宮字川原子11-3
 ☎0224・24・8812
 ☎9:00～17:00 (1/10～3/15は～16:00)
 休無休 (1/10～3/15は☎)
 国大人¥1,000、小学生以下無料
 国JR白石駅より車で約20分
 国www.12.palala.or.jp/zao-fox/



2.「みそうーめん」¥950はクセになる味わい。特製肉みそをみそスープに溶かし、好みの辛さで楽しもう

白石うーめん やまぶき亭

奥州白石石麺協同組合の直営店。組合特製の麺を使用しており、ゆでたてを氷で締めることでモチモチとしたコシとつるりとした食感を生み出している。建物は明治時代後期の商家を改装したもの。郷愁あふれる空間で味わう白石石麺は格別。

国白石市城北町6-13 (白石市商家資料館内)
 ☎0224・25・2322
 ☑11:00 ~ 15:00
 (土曜日は~16:00 ※夜は10名以上の予約での宴会プランのみ営業)
 困※(祝の場合は営業)、その他臨時休業あり
 国JR白石駅より徒歩15分
 国 www.shiroishi-umen.com/yamabukitei/



約600年の歴史を誇る鎌先屈指の名宿 時音の宿 湯主 一條

現在20代目が営む老舗旅館。文化財級の歴史的建造物である木造一部4階建ての本館は、歴史の重み漂う風格あるたたずまいだ。2つの自家自噴泉から引かれる温泉は「奥羽の薬湯」として名高く、「森の晩餐」と銘打たれた会席料理も好評。

宮城県白石市福岡蔵本字鎌先1-48

☎0224・26・2151 ☑in15:00 / out11:00

宿泊泊:1泊2食付き¥16,350 ~

(入浴のみは不可)

図JR白石駅より車で約15分

☞www.ichijoh.co.jp/



1. 重厚な本館は個室料亭「匠庵」として活用。大正ロマンの香り漂う空間でゆったりと朝夕の食事が楽しめる
2. 目の前に豊かな森が広がる露天風呂付き大浴場「洞窟の湯」。森のエネルギーを感じながら日ごろの疲れを癒やそう
3. 客室は8種類から選べる。最上級の「一條スイート」1泊2食付き¥41,190 ~は客室露天風呂付きのぜいたくな空間だ

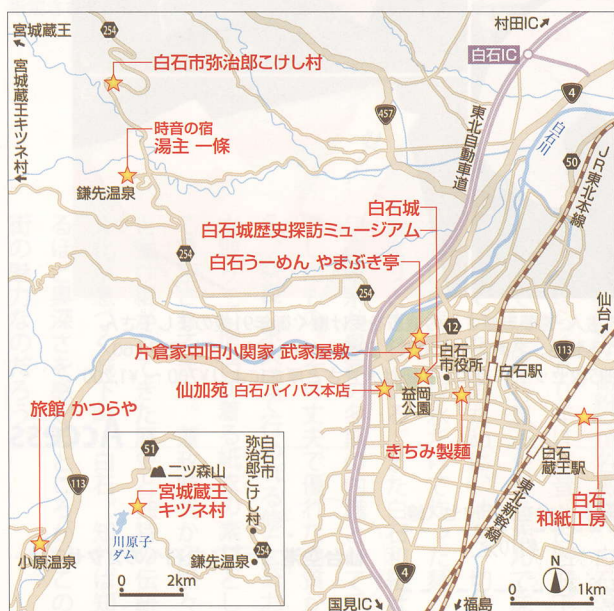
2. 季節の彩りに満ちた釜飯付きの日帰りプラン「花かご」¥3,880は女性に好評。客室利用はプラス¥1,000だが、4/1 ☎~ 6/30 ☎は無料となる
3. 今年で開業400年の宿。心落ち着く和室でのんびりと



温泉情緒と

自慢の名物「白石温麺」の
鎌先・小原の二大名湯では

1. 清らかな溪流が間近に迫る1階露天風呂。最上階には温泉街と渓谷を眼下に望む展望風呂もある



小原の名湯と心尽くしの料理を満喫

旅館 かつらや

白石川上流の渓谷沿いにたたずむ小原温泉の宿。源泉掛け流し100%の湯は湯量豊富で、特に「眼病に効く湯」として名をはせている。旬の素材を用いた料理にも定評があり、入浴と昼食がセットになった日帰りプランにはリピーターも多い。

図白石市小原字湯元23

☎0224・29・2121

☑in15:00 / out10:00

宿泊泊:1泊2食付き¥10,950

~、日帰り入浴:¥500、日帰

りプラン:¥3,880 ~ (要予約)

図JR白石駅より車で約15分

☞www.katsuraya.com/



“足軽まんじゅう”でおなじみの菓子店 仙加苑 白石バイパス本店

伊達家の御用菓子商人として創業し、約180年の歴史を持つ和菓子店。参勤交代の折、伊達藩の足軽たちの疲れを癒やしたことからその名が付いた「伊達藩足軽まんじゅう」は、売り上げの6～7割を占める自慢の逸品。秘伝のタレで延ばしたまんじゅう皮で小豆あんを包んで蒸し上げた、素朴な味わいが魅力だ。購入した商品を楽しめる喫茶スペースも。

〒白石市福岡蔵本字西町22
☎0224・25・4735
🕒8:30～19:00
🚗無休
📍JR白石駅より車で約5分
🌐senkaen.com/



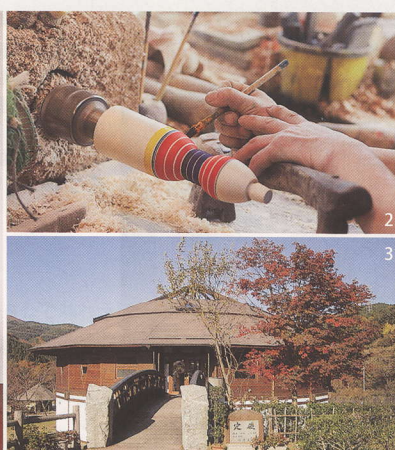
1. 時代を超えて愛され続けている「伊達藩足軽まんじゅう」は1個¥102
2. 伝統的なものから新感覚のものまで、和菓子を中心とした商品が並ぶ
3. 和菓子店のスイーツボテがコンセプトの新商品「俵いも」1個¥144



愛らしい表情の弥治郎こけし発祥の地 白石市弥治郎こけし村

伝統こけし11系統のうちの一つ、弥治郎こけしの歴史を伝える作品や資料を展示した資料館。蔵王の山すそに抱かれた谷あいには立ち、山の息吹を感じながら素朴で温かいこけしのふるさとに触れることができる。敷地内には3つの工房があり、工人の熟練した技を見学することも可能。オリジナルのこけし作りに挑戦できる絵付け体験コーナーも人気だ。

〒白石市福岡八宮弥治郎北72-1
☎0224・26・3993
🕒9:00～17:00 (11～3月は～16:00)
📞☎(☎の場合は翌平日)
📍入場無料、絵付け体験¥700 (木地代含む)
📍JR白石駅より車で約15分



1. ベレー帽のようなくる線を施した頭部と着物を表現した胴体模様が特徴の弥治郎こけし
2. 見事な筆使いを見学。作品は資料館内で購入可 (6寸約¥1,300～、8寸約¥2,000～)
3. こけしの起源や系統、製作過程を紹介している他、木地玩具やコンクール受賞作も展示

丈夫で美しく、ふくよかな手すき和紙 白石和紙工房

白石が誇る名産品・白石和紙は全国でも珍しいコウゾを原料とする手すき和紙。遠藤まし子さんが営むこの工房では、コウゾの栽培から仕上げまで一貫して行われており、作業の様子を見学することができる。すき上がった和紙は市内の紙子工房で多種多様に加工。製品は「白石城歴史探訪ミュージアム」売店をはじめ、土産店や旅館売店などで購入できる。

〒白石市鷹巣ヒル賀屋敷19
☎0224・26・3333
🕒8:00～17:00 (見学希望者は事前に要連絡)
📞☎☎(☎、その他臨時休業あり)
📍見学無料
📍JR白石駅より車で約10分



1. 白石和紙の復興に尽力したご主人・遠藤忠雄さんの遺志を受け継ぐ御年91歳のまし子さん
2. 拓本染めの技法で生み出される製品。名刺入れ¥1,080、印鑑入れ¥1,620、がま口¥2,160
3. はがき10枚セット¥800、短冊5枚セット¥1,000。和紙は大きさや厚さにより¥700～¥1,200



JR白石駅 JR東北本線 約35分 名取駅 仙台空港アクセス線 約10分
白石市街 車 約39.2km 約58分

仙台空港

白石へのアクセスは...

Access

AIR DO INFLIGHT MAGAZINE

rapora

[ラポラ]

AIR DO

May 2014 No.120

5

ご自由にお持ち帰りください

rapora special

ふっくら もちもち

道産小麦パン



AIR DO就航都市巡り049—宮城県●白石市

伊達家重臣 片倉小十郎の城下町・白石へ